

エコアクション21 環境経営レポート

(2023年度版)

<対象期間: 2023年4月1日 ~ 2024年3月31日>

全力で環境保全
有限会社 ネットワール

2024年10月22日 発行

目 次

組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	1
(2) 所在地(全事業所を認証・登録範囲とする)	1
(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	1
(4) 事業の概要(全事業活動を認証・登録範囲とする)	1
(5) 事業の規模	1
(6) 許可の内容	2
(7) 施設等の状況	3
(8) 処理工程図	4
(9) 処理実績	5
環境経営方針	6
実施体制	7
環境経営目標	8
環境経営計画	9
環境実績結果(環境経営目標の取組結果)	10
1. 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の取組結果	10
2. 2020年度～2023年度の取組結果表	11
3. 2020年度～2023年度の実績グラフ	12
環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容・環境経営目標	13
1. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容	13
2. 次年度以降(2024年度から2026年度)の中長期の環境経営目標	14
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	15
代表者による全体の評価と見直し・指示	16

組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業所名	有限会社 ネットワール
代表者名	代表取締役 田中 希

(2) 所在地(全事業所を認証・登録範囲とする)

本社	静岡県袋井市高尾2679番地の7
袋井工場	静岡県袋井市高尾2668番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	田中 希	
連絡先	電話	(0538)43-9530
	HPアドレス	http://www4.tokai.or.jp/net-worl/
	e-mail	net-worl@uv.tnc.ne.jp

(4) 事業の概要(全事業活動を認証・登録範囲とする)

産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業
古物商
金属くず商
再生資源の製造販売業

(5) 事業の規模

設立年月日	2003年8月8日
資本金	300万円
年間売上	9820 万円(2023 年8月1日 ~ 2024 7月31日)
従業員数	10 人(2024 年3月31日時点)
敷地面積	2061.68m ²

(6) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業

ア. 許可番号・許可年月日・許可の有効年月日

都道府県・市区名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
静岡県	02201107255	2003年12月8日	2028年12月7日
愛知県	02300107255	2014年6月2日	2029年6月1日

イ. 事業計画の概要 県内の解体現場等から排出される産業廃棄物の収集運搬をする

ウ. 事業の範囲 事業の区分 収集運搬(積替え及び保管行為を除く)

エ. 廃棄物の種類

静岡県	廃プラスチック類*、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず*、がれき類*、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ(以上11品目)
-----	---

* 石綿含有廃棄物を含む

水銀使用製品産業廃棄物を含む

愛知県	廃プラスチック類*、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず*、がれき類*(以上7品目:水銀使用製品産業廃棄物を除く。)
-----	---

* 石綿含有廃棄物を含む

自動車等破砕物を除く

特別管理産業廃棄物収集運搬業

ア. 許可番号・許可年月日・許可の有効年月日

都道府県・市区名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
静岡県	02253107255	2015年8月12日	2025年8月11日
鳥取県	03154107255	2023年12月19日	2028年12月18日

イ. 事業計画の概要 県内の企業等から排出される特別管理産業廃棄物の収集運搬をする

ウ. 事業の範囲 事業の区分 収集運搬(積替え及び保管行為を除く)

エ. 廃棄物の種類

静岡県	腐食性廃酸 廃PCB等(低濃度PCB含有廃棄物及び微量汚染廃電気機器等に限る。) PCB汚染物(低濃度PCB含有廃棄物及び微量汚染廃電気機器等に限る。) 特定有害汚泥*、特定有害廃酸*、特定有害廃アルカリ*、引火性廃油 * 水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、シアン化合物、セレン又はその化合物を含むものに限る(以上25品目)
鳥取県	廃PCB等(低濃度PCB廃棄物に限る。) PCB汚染物(低濃度PCB廃棄物に限る。)

産業廃棄物処分業

ア. 許可番号・許可年月日・許可の有効年月日

都道府県・市区名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
静岡県	02221107255	2004年3月23日	2029年3月22日

イ. 事業計画の概要 : 収集運搬された産業廃棄物を中間処分する

ウ. 事業の範囲 : 事業の区分 中間処分

エ. 廃棄物の種類

静岡県	破砕処分	廃プラスチック類
	切断処分	廃プラスチック類, 金属くず, がれき類, 木くず, ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 水銀使用性製品産業廃棄物を除く
	圧縮処分	廃プラスチック類, 紙くず, 繊維くず

(7) 施設等の状況

産業廃棄物収集運搬業

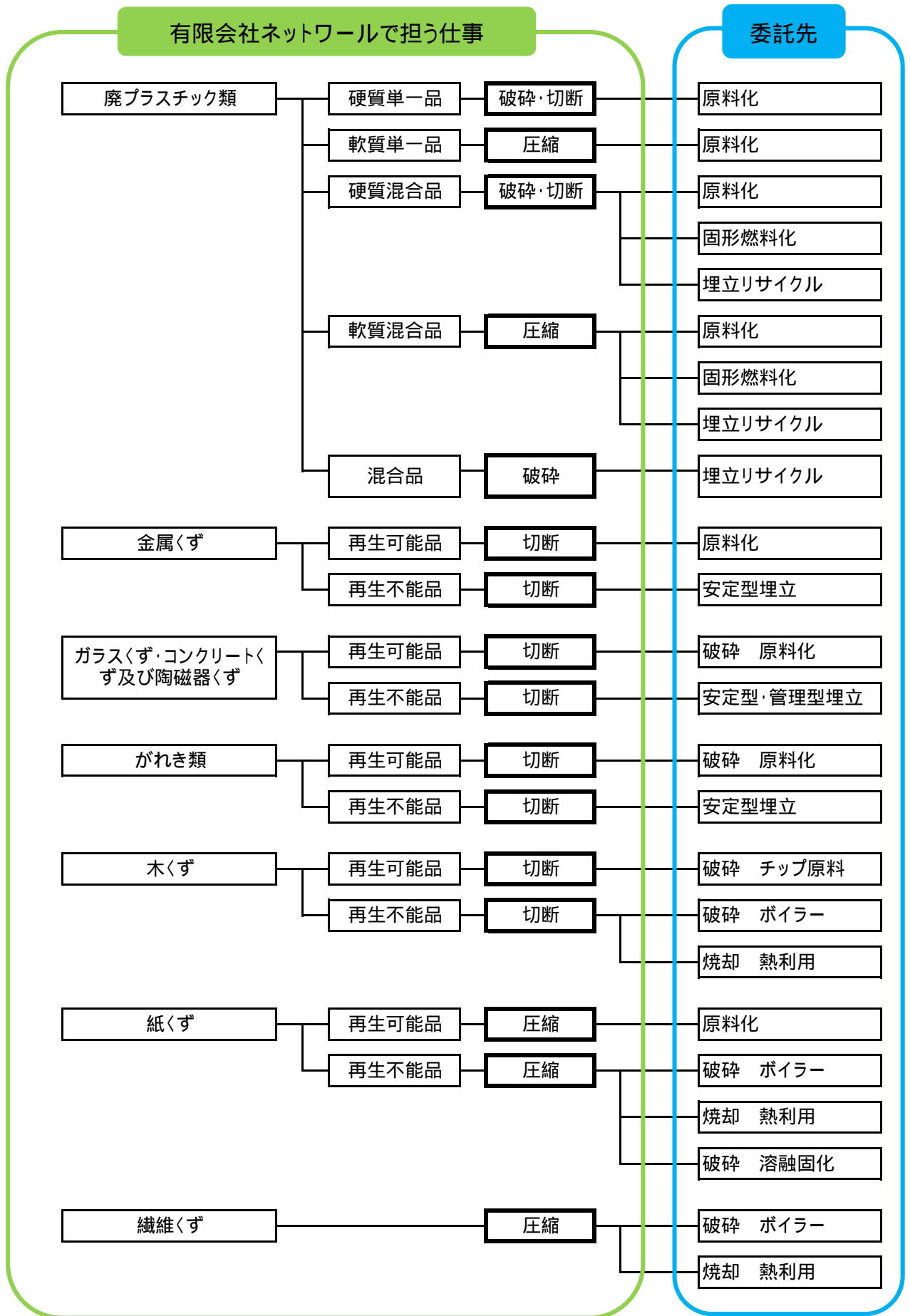
ア. 運搬車輛の種類及び台数

- ・ キャブオーバ 5台 (2023.9 1台導入)
- ・ 脱着装置付コンテナ専用車 1台 (2018.7導入)

産業廃棄物処分業

処理施設の種類	処理施設の状況	
圧縮施設	設置場所	静岡県袋井市高尾字川原口2668番1
	設置年月日	平成16年3月22日
	廃棄物の種類及び処理能力	
	廃プラスチック類	
	紙くず	16.88t / 1日 (8.0)時間
	繊維くず	6.72t / 1日 (8.0)時間
	処理方式	圧縮
	構造・設備	工場建屋内に設置
切断施設	設置場所	静岡県袋井市高尾字川原口2668番1
	設置年月日	平成16年3月22日
	廃棄物の種類及び処理能力	
	廃プラスチック類	4.03t / 1日 (8.0)時間
	金属くず	4.34t / 1日 (8.0)時間
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	3.84t / 1日 (8.0)時間
	がれき類	5.68t / 1日 (8.0)時間
	木くず	6.34t / 1日 (8.0)時間
処理方式	切断	
構造・設備	工場建屋内に設置	
破砕施設	設置場所	静岡県袋井市高尾字川原口2668番1
	設置年月日	平成16年3月22日
	廃棄物の種類及び処理能力	
	廃プラスチック類	3.17t / 1日 (8.0)時間
	処理方式	破砕(1軸式)
構造・設備	工場建屋内に設置	

(8) 処理工程図



(9) 処理実績

処理方法等		廃棄物等種類 / 処分方法等	2023年度	
収集運搬		産業廃棄物	564.5	t
		特別管理産業廃棄物	1.8	t
収集運搬量合計			566.3	t
中間処理		破碎・圧縮・切断	634.3	t
	うち再資源化等	売却	259.0	t
中間処理合計			634.3	t
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	埋立	3.4	t
	再資源化等	原料化・固形燃料製造・熱利用等	371.9	t
中間処理後処分量合計			375.3	t

有限会社ネットワークル 環境経営方針

1. 廃棄物の収集運搬及び中間処理の業務を通じてリサイクルを推進する事により、社会に貢献する事を目指し、ひいては企業の発展を図る。
2. 顧客の要望に応じた廃棄物処理を、共に考え、実現する事を目指す。
3. 分別の目を養い、顧客の規模や排出物に応じた分別・排出方法を提案する事により、環境負荷の削減及び再資源化に取り組む。
4. 環境経営の継続的改善を実施する。
5. 環境関連法規を遵守する。

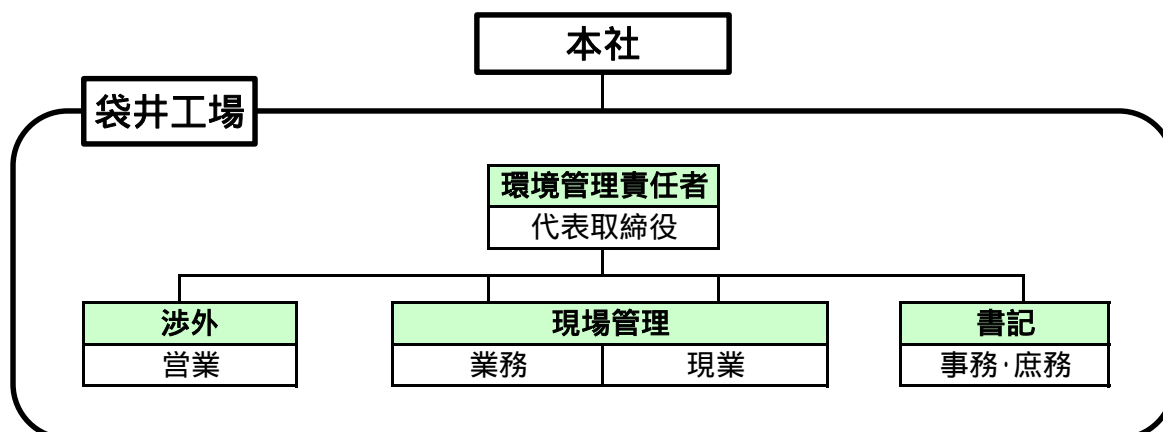
2005年2月9日 制定
2020年5月29日 改定

有限会社 ネットワークル

代表取締役 田中 希

実施体制

組織図及び実施体制



各担当者の責任と役割内容

環境管理責任者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の策定 環境経営システムの構築及び運用、環境経営目標及び環境経営計画の実施に必要な資源（人的・物的・財務的資源）の用意 「環境への負荷の自己チェック」及び「環境への取組の自己チェック」の実施の指示と結果の審査・承認 環境経営目標及び環境経営計画の設定の指示と結果の審査・承認 年1回の環境経営目標及び環境経営計画の達成状況の把握と、必要に応じて問題点の是正指示
現場管理(現業・業務)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境への負荷の自己チェック」及び「環境への取組の自己チェック」の実施と結果報告 環境経営目標及び環境経営計画の検討・設定及び報告 年1回の環境経営目標及び環境経営計画の達成状況の報告
渉外(営業)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境への負荷の自己チェック」及び「環境への取組の自己チェック」の実施(現場管理と一緒に実施) 環境経営目標及び環境経営計画の検討・設定(現場管理と一緒に実施) 年1回の環境経営目標及び環境経営計画の達成状況の把握 取引先へのエコアクション21に取り組んでいる事の周知及び環境経営活動の理解と協力依頼
書記(事務)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境への負荷の自己チェック」及び「環境への取組の自己チェック」の実施(現場管理と一緒に実施) 環境経営目標及び環境経営計画の検討・設定(現場管理と一緒に実施) 年1回の環境経営目標及び環境経営計画の達成状況の把握 書類の作成及び管理

他に環境管理責任者以下で、年1回環境経営システム及び環境経営方針の見直しをする

環境経営目標

1. 2023 年度の環境経営目標

No	取組項目		目標値	単位
	二酸化炭素排出量削減	物質使用量あたりの排出量	27.0	kg-CO ₂ /t 以下
		売上高あたりの排出量	381.2	kg-CO ₂ /百万円以下
	電気使用量削減	事務所・工場	削減に努める	
	軽油使用量削減	収集運搬車両の燃費	5.4	km / 以上
	水使用量(総排水量)削減	一人当たりの水使用量 (総排水量)	9.0	m ³ /人以下
	中間処理後の産業廃棄物 廃棄物削減	熱利用処分行	5	%以下
		再生利用処分行	90	%以上
	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		配慮する	
	化学物質使用量削減		化学物質使用量削減については該当なし	

< 備考 >

- (1) 物質使用量とは、「中間処理量」と「再生資源の回収・収集等」の合計量である。
- (2) 廃プラ・紙・布における、中間処分後の排出先の総排出量に対する割合である。
- (3) 各目標数値は、2018年度～2020年度の平均値を基とする。
- (4) 電気使用量については再生資源製造との因果関係があるか比較検討して、今後電気使用量削減の具体的な目標が立てられるようにする。
- (5) 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)は、H30年度実績、R2.1.7環境省・経済産業省公表、R2.9.15一部追加・修正の中部電力(株)の調整後の排出係数ある0.452(kg-CO₂/kWh)を使用する。

2. 次年度以降(2024年度から2026年度)の中長期の環境経営目標

前3年の結果を踏まえて数値目標を設定する。

環境経営計画

1. 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の環境経営計画

No	計画内容		取組内容	担当者	
	二酸化炭素 排出量削減	電気	事務機器	OA機器を省電力設定にし、営業時間外は主電源を切る。	竹内美由紀
			照明	消灯の徹底する。	
			空調	温度設定の適正化	
				フィルター定期清掃	
				使用していない部屋の空調停止	
			その他	クールビズ、ウォームビズ	
		遮光対策(ブラインドの設置)			
		ガソリン ・ 軽油	乗用車 トラック フォークリフト	エコドライブ	永井秀幸
				日常・定期点検の実施	
				適正な積載量を心がけ、車両の点検整備をしっかりと行う。	
収集運搬車両は給油毎に給油時総走行kmを記録し、定期的に燃費の良し悪しの原因を考える。					
収集運搬する際の日時及びルート进行调整し、より効率的に稼働する。	柴本柚樹				
水使用量 削減	水道水	事務所 工場	節水表示の掲示	竹内美由紀	
			手洗い中に水を流しっぱなしにしない。		
廃棄物 排出量削減	可燃物	事務所	コピー用紙の両面使用	竹内美由紀	
			封筒の再利用		
			廃棄物の分別とリサイクル		
	不燃物	カン、ビン、ペットボトル等の分別化	竹内美由紀		
	中間処理後の産業廃棄物	工場	産業廃棄物や有価物の分別方法が変更になる度に、変更点の全体への周知を徹底する。	金内篤人	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	受諾産業廃棄物	従業員	新規顧客の開拓	山野正人	
			分別ルートの新規開拓		
		排出事業者	取引先への教育方法の検討		

環境実績結果(環境経営目標の取組結果)

1. 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の取組結果

No	取組項目		目標値	取組結果	評価
	二酸化炭素排出量削減	物質使用量あたりの排出量	27 kg-CO ₂ /t以下	38.5 kg-CO ₂ /t	×
		売上高あたりの排出量	381.2 kg-CO ₂ /百万円以下	539.4 kg-CO ₂ /百万円	×
	電気使用量削減	事務所・工場	削減に努める	削減に努める	○
	軽油使用量削減	収集運搬車両の燃費	5.4 km/以上	5.3 km/	
	水使用量(総排水量)削減	一人当たりの水使用量(総排水量)	9.0 m ³ /人以下	13.9 m ³ /人	×
	中間処理後の産業廃棄物廃棄物削減	熱利用処分行	5 %以下	1 %	
		再生利用処分行	90 %以上	99 %	
	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		配慮する	配慮した	○

< 備考 >

1. 評価 印:十分に達成, 印:達成, 印:ほぼ達成, ×印:未達成

2. 2020年度から2023年度の取組結果表

(1) 二酸化炭素排出量

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
排出量(kg-CO ₂)	43,260	51,356	51,509	61,698

(2) 化石燃料による二酸化炭素排出量及び物質使用量・売上高あたりの排出量

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
排出量(kg-CO ₂)	39,176	46,131	44,418	52,861
物質使用量(t)	1,360	1,743	1,584	1,372
使用量あたりの排出量(kg-CO ₂ /t)	28.8	26.5	28.0	38.5
売上高(百万円)	156	139	121	98
売上高あたりの排出量(kg-CO ₂ /百万円)	251.1	331.9	367.1	539.4

(3) 電気使用量

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
低圧電力 高圧電力	(kWh)	3787	3131	3642	9804
従量電灯	(kWh)	5248	5248	8429	9747
合計	(kWh)	9035	8379	12071	19551
再生資源製造	(kg)	722	0	0	0

2023年11月より低圧電力から高圧電力へ切替

(4) 収集運搬車両の軽油使用量・走行距離及び燃費

車番	項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
4484	軽油()	4,075	4,059	3,822	3,975
	走行距離(km)	21,538	23,558	22,685	21,789
	燃費(km/)	5.29	5.80	5.94	5.48
9530	軽油()	3,064	4,288	3,513	3,683
	走行距離(km)	16,362	22,905	18,551	19,044
	燃費(km/)	5.34	5.34	5.28	5.17
7671	軽油()	628	1,141	750	360
	走行距離(km)	3,524	5,640	4,096	2,152
	燃費(km/)	5.61	4.94	5.46	5.97
306	軽油()	1,267	1,426	956	1,024
	走行距離(km)	7,133.0	7,970	5,809	5,749
	燃費(km/)	5.63	5.59	6.08	5.61
6322	軽油()				1,912
	走行距離(km)				8,761
	燃費(km/)				4.58
合計平均	軽油()	9,034	10,914	9,039	10,954
	走行距離(km)	48,557	60,073	51,141	57,495
	燃費(km/)	5.37	5.50	5.66	5.25

収集運搬使用分以外は集計対象外とする。

(5) 水使用量及び総排水量

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
上水	(m ³)	68	58	79	125
下水	(m ³)	68	58	79	125
従業員	(人)	8	7	9	9
一人当たり使用量	(m ³ /人)	8.5	8.3	8.8	13.9

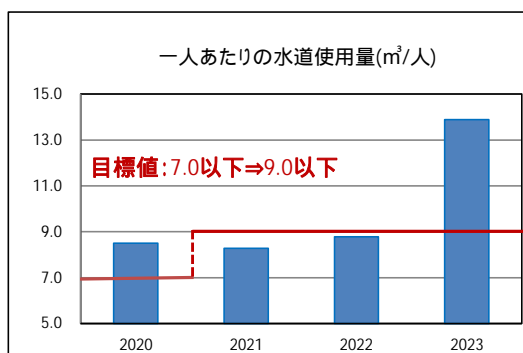
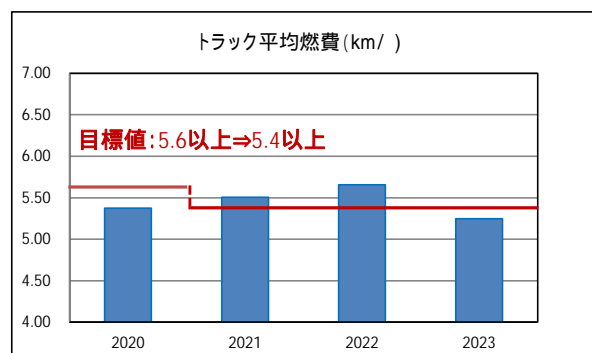
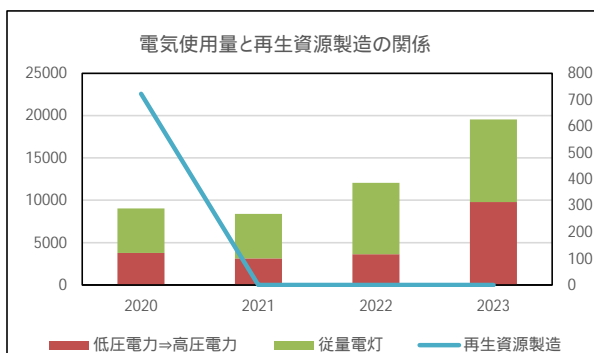
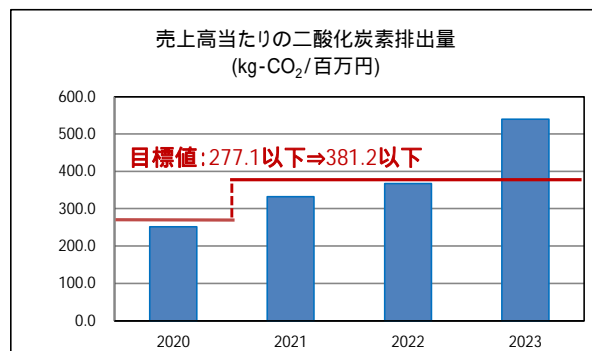
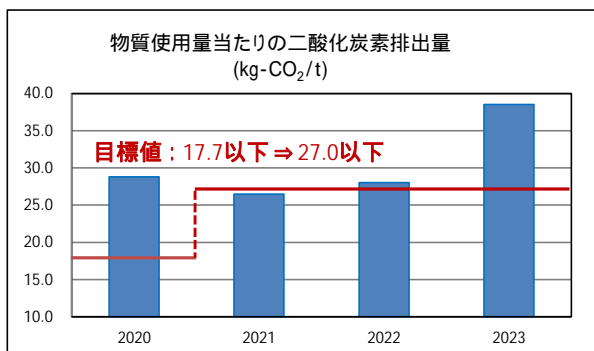
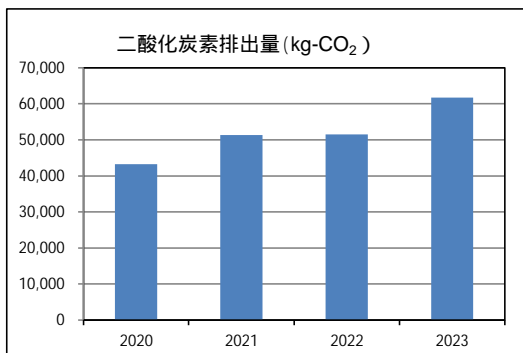
(6) 廃棄物(廃プラ・紙・布)排出量(t)及び割合

排出方法	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
再使用	0	0	0	0
再生利用	352.9	466.0	574.8	371.0
熱利用	1.8	3.9	7.1	3.7
単純焼却	0	0	0	0
最終処分	3.6	2.7	0.0	0.0
総排出量	358.3	472.6	582.0	374.7
熱利用/総排出量	0.5%	0.8%	1.2%	1.0%
再生利用/総排出量	98.5%	98.6%	98.8%	99.0%

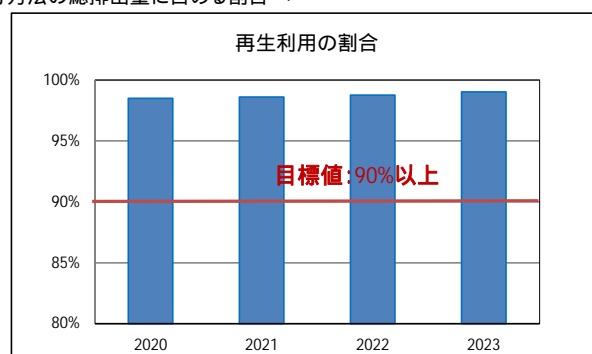
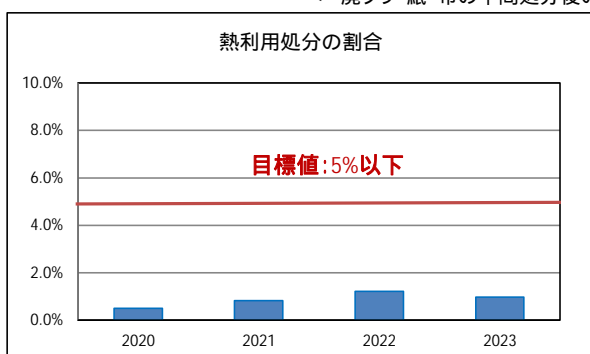
(7) 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

廃棄物(廃プラ・紙・布)の総排出量に対する再生利用処分量の比率向上を目標としているが、(6)の表のとおり90%以上を維持継続している。

3. 2020年度から2023年度の実績グラフ



< 廃プラ・紙・布の中間処分後の処分方法の総排出量に占める割合 >



環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容・環境経営目標

1. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

No	計画内容		取組内容	担当者	取組結果	評価	次年度	
二酸化炭素排出量削減	電気	事務機器	OA機器を省電力設定にし、営業時間外は主電源を切る。	竹内美由紀	実施することが出来た。		継続実施	
			照明		消灯の徹底する。	実施することが出来た。		同上
			空調		温度設定の適正化	実施することが出来た。		同上
					フィルター定期清掃	実施することが出来た。		同上
					使用していない部屋の空調停止	実施することが出来た。		同上
			その他		クールビズ、ウォームビズ	実施することが出来た。		同上
					遮光対策(ブラインドの設置)	実施することが出来た。		同上
	ガソリン・軽油	乗用車 トラック フォークリフト	エコドライブ	永井秀幸	実施することが出来た。		同上	
			日常・定期点検の実施		実施することが出来た。		同上	
			適正な積載量を心がけ、車両の点検整備をしっかりと行う。		排出事業者に予め積載予定重量の確認をした。		同上	
収集運搬車両は給油毎に給油時総走行kmを記録し、定期的に燃費の良し悪しの原因を考える。			実施することが出来た。			同上		
		収集運搬する際の日時及びルート进行调整し、より効率的に稼働する。	柴本柚樹	効率的な収集運搬計画を立てて稼働できた。		同上		
水使用量削減	水道水	事務所 工場	節水表示の掲示	竹内美由紀	実施することが出来た。		同上	
			手洗い中に水を流しっぱなしにしない。		実施することが出来た。		同上	
廃棄物排出量削減	可燃物	事務所	コピー用紙の両面使用	竹内美由紀	実施することが出来た。		同上	
			封筒の再利用		実施することが出来た。		同上	
			廃棄物の分別とリサイクル		実施することが出来た。		同上	
	不燃物	カン、ピン、ペットボトル等の分別化	竹内美由紀	ペットボトルが時折分別できていなかった。	○	同上		
	中間処理後の産業廃棄物	工場	産業廃棄物や有価物の分別方法が変更になる度に、変更点の全体への周知を徹底する。	金内篤人	有価物も含めて実施する事が出来た。		同上	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	受託産業廃棄物	従業員	新規顧客の開拓	山野正人	実施することが出来た。		同上	
			分別ルートの新規開拓		実施することが出来た。		同上	
		排出事業者	取引先への教育方法の検討		実施することが出来た。		同上	

< 備考 >

1. 評価 印:十分に実施出来た, ○印:実施出来た, 印:実施不十分, ×印:実施出来なかった

2. 次年度以降(2024年度から2026年度)の中長期の環境経営目標

No	取組項目		目標値	単位
	二酸化炭素排出量削減	物質使用量あたりの排出量	31.0	kg-CO ₂ / t 以下
		売上高あたりの排出量	412.8	kg-CO ₂ / 百万円以下
	電気使用量	事務所・工場	高圧電力の今後の使用量をみて検討する	
	軽油使用量	収集運搬車両の燃費	5.46	km / 以上
	水使用量(総排水量)削減	一人当たりの水使用量(総排水量)	10.3	m ³ / 人以下
	中間処理後の廃棄物排出量削減	熱利用処分行	5	%以下
		再生利用処分行	90	%以上
	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		配慮する	
	化学物質使用量削減		化学物質使用量削減については該当なし	

< 備考 >

- (1) 物質使用量とは、「中間処理量」と「再生資源の回収・収集等」の合計量である。
- (2) 廃プラ・紙・布における、中間処分後の排出先の総排出量に対する割合である。
- (3) 各目標数値は、2021年度～2023年度の平均値を基とする。
- (4) 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)は、H30年度実績、R2.1.7環境省・経済産業省公表、R2.9.15一部追加・修正の中部電力(株)の調整後の排出係数ある0.452(kg-CO₂/kWh)を使用する。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況は次のとおりである。

確認は年2回4月・10月に各関連機関のHP等により確認している。

また違反や関係機関等からの指摘、訴訟等も無かった。

No	法規等及び条項	適用対象業務・物・施設	要求事項	担当者	遵守
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集運搬及び処分業務	産業廃棄物収集運搬業許可取得	田中	○
			特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得		
		産業廃棄物処分業許可取得 保管施設の基準の遵守	竹内		
産業廃棄物管理票	紙マニフェストの管理 収集運搬業: B1,C2票の保存 中間処分業: C1票の保存 排出事業者: A,B2,D,E票の保存	竹内			
	電子マニフェストの管理 収集運搬業: 運搬終了日から3日以内に報告 中間処分業: 処分終了日から3日以内に報告 排出事業者: 引き渡し日から3日以内に報告				
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	処理業務の受託	処理業務の受託契約	竹内	○
		二次排出の処理委託	二次排出の処理委託契約	竹内	
3	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物の処理業務	産業廃棄物の処理に関する県及び事業者、処理業者、県民等の責務	田中 竹内	○
3-1	浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物収集運搬業務	産業廃棄物の処理に関する市及び事業者、処理業者、市民等の責務	田中 竹内	○
4	下水道法	排水施設	排水設備の設置等	田中	○
5	袋井市下水道条例	排水施設	排水設備の設置等	田中	○
6	家電リサイクル法	対象家電の廃棄	排出時の指定業者への引渡等適正な処分	竹内	○
7	資源有効利用促進法	パソコンの廃棄	排出時の指定業者への引渡等適正な処分	竹内	○
8	自動車リサイクル法	自動車の廃棄	リサイクル料金の負担・廃車時の適正な処分	永井	○
9	消防法	産業廃棄物保管施設	危険物の規定(指定可燃物)	柴本	○
		工場	消防用設備等の点検及び報告	田中	
10	循環型社会形成推進基本法	産業廃棄物の処理業務	原材料・製品等が廃棄物等となることの抑制	田中	○
			循環資源の循環的な利用及び処分		
			事業者の責務		
11	静岡県環境基本条例	産業廃棄物の処理業務	事業者の責務	田中	○
12	道路運送車両法	産業廃棄物の収集運搬業務	道路運送車両の保安基準	永井	○
			道路運送車両の点検及び整備		
			道路運送車両の検査等		
13	環境配慮契約法	産業廃棄物の処理に関わる契約	契約に際して環境への取組、事業者の優良性が考慮される	田中	○
14	小型家電リサイクル法	対象小型家電の廃棄	排出時の指定業者への引渡等適正な処分	田中	○
15	PCB特別措置法	PCB廃棄物の処理業務	適正な処理	田中	○
16	オフロード法	公道を走行しない特殊自動車	特定特殊自動車の排出ガス規制等	柴本	○
17	フロン排出抑制法	産業廃棄物の処理業務	適正な処理	田中	○

遵守状況の確認

4~8, 10, 11, 13, 14 適用

1~3 2024年7月 デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について 確認、適用

9 2024年6月 消防用設備等の点検及び報告済、適用

12 2024年6・7・8・9月 車検済、適用

15 2024年10月 低濃度PCB廃棄物の無害化処理の用に供する施設として製鋼の用に供する電気炉を用いた焼却施設が追加されたことを研

2005年10月25日 作成
2024年10月18日 最終改訂

遵守状況の確認日: 2024年10月21日

確認者: 田中希

代表者による全体の評価と見直し・指示

「環境管理責任者から代表者への報告内容」		責任者氏名	田中希
		作成年月日	2024年10月21日
見直し 関連 情報	項目	確認	評価・コメント
	1 EA21文書		
	2 環境経営目標及び目標達成状況		
	3 環境経営計画及び取組実施状況		
	4 環境関連法要求一覧及び遵守状況		
	5 外部コミュニケーション・対応記録		記録簿参照
	6 問題点の是正・予防処置の実施状況		特になし
	7 取引先、業界、関連行政機関、その他の外部動向		特になし
	8 その他		特になし
「代表者による全体の評価と見直し」の結果		責任者氏名	田中希
		作成年月日	2024年10月21日
代表者による 全体の 評価と 見直し の指示	全体評価	<p>今期新たに現場作業員を迎え、電力も低圧を高圧に変更し、今まで外注に出していた有価物の加工作業を自社で行うようにした。その分電気代等は上がったが、外注費の削減につながっている。今後は業態に見合った適正な電気使用量を探るべく、機械等の稼働時間と売上・利益との因果関係をデータ化し、それに対しての目標を新たに設定していけるよう、社内で取組方法を検討していく。</p>	
	見直し項目	変更の必要性	変更[有]の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有(無)	
	2 環境経営目標	(有)・無	中長期目標の3年毎の見直しを行った
	3 環境経営計画と取組項目	有(無)	
	4 環境に関する組織	有(無)	
	5 その他のシステム要素	有(無)	
6 その他(外部への対応等)	有(無)		